



電力自由化が始まります。

これまで家庭や商店向けの電気は、各地域の電力会社(東京電力、関西電力等)だけが販売しており、家庭や商店では、電気をどの会社から買うか選ぶことはできませんでした。

2016年(平成28年)4月1日以降は、電気の小売業への参入が全面自由化されることにより、家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになります。つまり、ライフスタイルや価値観に合わせ、電気の売り手やサービスを自由に選べるようになるのです。

～具体的にどうなるの?～

「電力の小売全面自由化」により、様々な事業者が電気の小売市場に参入してくることで、新規参入の会社を含めた電力会社の選択が可能になります。

また、太陽光、風力、水力、地熱などの再生可能エネルギーを中心に電気を供給する事業者から電気を買うことも可能となります。

さらに、現在お住まいのエリア外で発電された電気の購入も可能となります。例えば、都会に住んでいても、ふるさどで発電した電気を選べる可能性が生まれます。また、近くの自治体が運営する事業者から電気を買うなど、電気の地産地消も可能になります。



前面自由化の経緯

2000年3月 電力自由化スタート

<特別高圧>大規模工場やデパート、オフィスビル

2004年4月 2005年4月

<高圧>自由化領域拡大

2016年4月

<低圧>全面自由化

異業種と言われるメーカーがどんどん参入!

- ・東京ガス
- ・JX日鉱日石エネルギー
- ・大和ハウス工業
- ・ソフトバンク
- ・・・etc

6回目の審査を通過した企業は全部で89社。審査待ちの企業はまだ100社を超えています。



将来に……。

将来、低価格となり参入業者が増加し、サービスの多様化が加速すれば、消費者側が何を基準に選択するのかが問われる事になります。その為に、消費者側が消費電力について勉強していきましょう。

サービスが増えるがサービスの利用者が少なければ本末転倒ですよ。

この先自由化による各業種の競争が激化されるのが予想されますよ。

皆様もこの期に、ご家庭の電力についてを再度話し合いをしてみてくださいはいかがでしょうか?

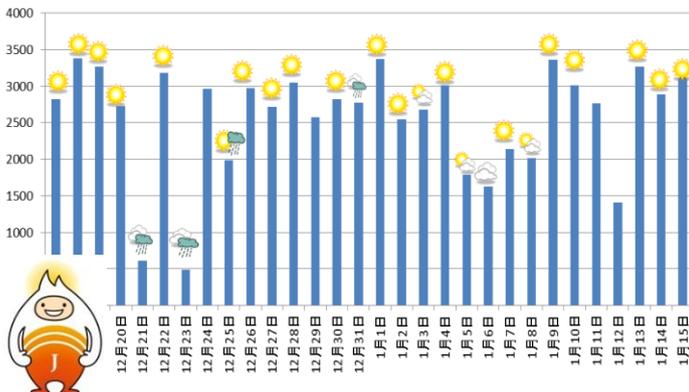
～笑顔プロジェクト

2015 クリスマス～

今年も地域の子供たちへお菓子をプレゼントさせて頂きました♪子供たちに喜んでもらえると、私達も本当に嬉しいです。ささやかではありますが、今後もこのような活動を続けていければと考えております。



へきなんパーク12月/2016年1月 日別発電量[kWh]



世の中の動き

【日経新聞】

- ・世界の気温、2年連続で最高更新 日本は過去4番目 12/22
- ・全電力に温暖化対策義務
- ・ガス排出量を毎年開示 パリ協定受け政府、来年度にも 12/23
- ・豊田織機、太陽光を効率よく熱に アンモニアや水素製造 12/28
- ・東証インフラファンド、16年春にも上場第1号 太陽光に投資2/18
- ・現代自、エコカー3車種 HVやPHV「プリウスを超える」 1/8
- ・中部電、夜間割引を拡充へ 4月の新料金で 1/8
- ・COP21、温度上昇2度未満に 炭素価格の活用注目 1/18

【電気新聞】

- ・JCOM、15都道府県で電力小売り 家庭用、従量料金を割り引き 1/7
- ・経産省、電力小売り全面自由化の情報発信を加速 1/15
- ・JXエネ、東電エリアでKDDIと販売提携?電力小売り料金を発表 1/15

※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行 「いつでもお問い合わせください。」

株式会社ジェネックス 〒447-0871 愛知県碧南市向陽町4丁目79番地ウィルビル3F TEL:0566-91-4131 FAX:0566-91-4139